

# 産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

## 取組の概要

取組の概要 : 次代を担う産地強化への体制整備  
計画作成主体 : 新おたる農協管内  
地域農業再生協議会  
対象品目 : ミニトマト (目標面積 : 54.3ha)  
主な取組主体 : 新おたる農業協同組合  
成果目標 : 販売額の10%以上の増加 (総販売額)  
助成金の活用 : 整備事業 (集出荷貯蔵施設)  
状況 : 生産支援事業 (選果ラインのリース)

## ポイント

既存の施設を集約し、コストを下げるほか全量共選にすることで、農家の労働力を軽減し、また、糖度センサーにより高糖度の上位規格品を新たに設け、販売額の増加に取り組む。



## 地区の概要



## 産地の現状と目標

現状:H27年度

作付面積 : 50.8ha  
共選数量 : 444.7t  
総販売額 : 1,675,618千円

目標:H30年度

作付面積 : 54.3ha  
共選数量 : 2,302.2t  
総販売額 : 1,843,180千円



## 推進体制

地域の関係者 (仁木町、新おたる農業協同組合、生産組合関係者等) が一体となり、事業を推進。

## 地域における独自の取組

主な取組

今後益々困難とされる労働者の確保が農協機械共選により解消され、尚且つ、労働人件費の削減に大きな効果をもたらす。また、生産者の労働力を規模拡大に向けるとともに、新規就農者の確保と栽培管理の徹底により収量・品質の向上も可能となる。

道・市町村単独事業

町単独事業により助成 (500百万円) 施設整備への上乗せ負担

## 事業効果

既存施設を集約し、全量共選することで高品位平準化を図ることができる。糖度センサーにより、高糖度の上位規格品を新たに設けることができ、単価のアップにつなげることができ、販売額が増加する。

~ 総販売額の10%以上の増加 ~

[主要10品目中1位]

